香川県立保健医療大学リポジトリ

香川県立保健医療大学看護学科国際交流係の活動

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2021-06-21 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 辻, よしみ, 片山, 陽子, 植原, 千明, Tsuji, Yoshimi, Katayama, Yoko, Uehara, Chiaki メールアドレス: 所属:
URL	https://kagawa-puhs.repo.nii.ac.jp/records/237

香川県立保健医療大学看護学科国際交流係の活動

辻 よしみ[1)*]，片山 陽子[1)]，植原 千明[1)]

[1)]香川県立保健医療大学保健医療学部看護学科

Activities of the International Exchange Coordinator of the Nursing Department, Kagawa Prefectural University of Health Sciences

Yoshimi Tsuji[1)*], Yoko Katayama[1)], Chiaki Uehara[1)]

[1)] *Department of Nursing, Faculty of Health Sciences, Kagawa Prefectural University of Health Sciences*

要旨

香川県立保健医療大学において，2014年から国際交流委員会が設立され，2016年からは看護学科内に国際交流係が配置された．

現在までに国際交流係として

① 国際交流普及活動として，オープンキャンパスでの広報活動，高校訪問時の広報活動，国際交流学内報告会の開催，国際交流PRのためのリーフレットづくりの実施

② 国際交流活動の実際として，BTMCへの教育活動支援と学生間交流の支援の実施

③ 学生の国際交流活動への支援として渡航に関する準備等の支援の実施

④ 今後の国際交流活動の推進の基盤となる調査活動として学生へのアンケート調査の実施．

今後も学生の育成に向けて国際交流委員会と連携しながら活動を展開していきたい．

Abstract

At Kagawa Prefectural University of Health Sciences (KPUHS), an international exchange committee was established in 2014, and three international exchange, coordinators were designated in the Nursing Department in 2016.

The coordinators have so far contributed to the following activities :

(1) International exchange promotional activities, such as publicity during the open campus and on high school visits, help with on-campus meetings to report international exchange activities, and preparation of brochures to publicize international exchange program offered at KPUHS.

(2) As implementation of international exchange activities educational, support for BTMC, and assistance with student exchange at KPUHS .

(3) Support for international exchange activities of students, such as preparing them for study abroad.

(4) As basic surveys to promote international exchange activities in the future, implementation of questionnaire surveys involving students.

We would like to continue the above activities to promote international perspectives of students, while cooperating with international exchange committee at KPUHS.

Key Words：国際交流(international exchange)，看護教育(nursing education)

*連絡先：〒761－0123 香川県高松市牟礼町原281－1 香川県立保健医療大学保健医療学部 看護学科 辻 よしみ

*Correspondence to：Yoshimi Tsuji, Department of Nursing, Faculty of Health Sciences, Kagawa Prefectural University of Health Sciences, 281-1, Hara, Mure-cho, Takamatsu, Kagawa 761-0123, Japan

E-mail : tsuji@chs. pref. kagawa. jp

はじめに

香川県立保健医療大学では，基本理念に「国際的視野をもって保健・医療・福祉に関する問題を考え，判断し，活動できる人材の育成」を掲げている．その様な中で，学内に2014年から国際交流委員会が設立され，更に具体的な活動展開のために，2016年からは看護学科内に国際交流係が３名配置された．そこで，現在までに国際交流係として推進してきた活動である①国際交流普及活動，②国際交流活動の実際，③学生の国際交流活動への支援，④今後の国際交流活動の推進の基盤となる調査活動の４点について以下に報告する．尚，2016年までの活動においては，看護学科係として正式な配置は行われておらず，看護学科の国際交流委員および教員が支援を実施しており，国際交流活動が展開される中，必要性に応じて看護学科への配置に至ったため，それらの内容を含め報告する．

国際交流活動の概要

１．協定が結ばれた経緯

現在までに協定や交流が実施されているのは，ビントゥアン医科大学校（以下BTMC）（ベトナム），ロッキーズ大学（カナダ），南アルバータ工科大学（以下SAIT）（カナダ）の３校である．

2015年より，BTMCとの交流により，教員への教育活動支援の要望もあり学術交流のための締結を行った．合わせて，ロッキーズ大学の語学留学プログラムへの参加，SAITとの学生間交流と学術交流の協定締結により相互の教員及び学生の他国との交流が本格的に開始された．

写真１　BTMC協定締結式

２．国際交流普及活動

本学では，2015年以前には単発的な海外講師の講演会の実施はあったが，大学として国際交流協定を締結している学校は存在しなかった．そのため，学内で教員をはじめ学生においても国際交流活動の実際について経験することは皆無に等しい状況であった．そこで，まず学内の教員や学生及び保護者への国際交流への意識や認知度を高めるために，学内の委員会と連動し，①オープンキャンパスでの広報活動，②高校訪問時の広報活動，③国際交流学内報告会の開催，④国際交流ＰＲのためのリーフレット作成を実施した．

写真２　国際交流報告会

３．国際交流活動の実際

１）BTMCへの教育活動支援

2015年に協定を結んだベトナムのBTMCとの交流では，2014年～2015年にBTMCの大学長及び副知事の本学への来学があった．その後，BTMC側の教員への教育活動支援について要望があり，2015年から今までに２年間，本学教員を２名ずつ派遣し講義および演習を実施した．内容として2015年の訪問では，①本学の紹介②日本の医療福祉制度の概要，2016年には，①老年看護の講義②老年看護の技術（実技）を実施した．

１年目の本学の紹介では，大学の概要，教育内容，カリキュラムや大学内の施設の写真，日本の医療福祉制度では，日本の人口推移や高齢化社会における日本の現状や対策についてプレゼンテーション資料を見せながら，BTMCの教員を対象に実施した．２年目は，相手校の希望もあり，高齢者の特性や特徴に応じた移動動作について講義を行い，体位変換や車椅子移送について，ビデオや実技を行いながら実施した．

写真３　BTMCへの教育活動支援

２）学生間交流の実際

海外からの学生の受け入れについては，2015年からSAITの学生と引率教員の受け入れを実施している．１年目は学生４名と引率教員１名が来学し，２年目においては，学生２名と引率教員１名が来学し，来学時の対応を行った．来学に際しては，国際交流委員会で，留学中のスケジュール作成を行い，活動に関して，看護学科の担当となった「基礎看護技術」講義の見学，「訪問看護ステーション」での訪問看護，「保健所」「県立病院」の見学について各機関との連携調整を行い活動を実施した．また，学生が中心となって主催した交流会等のプログラムを学生とともに実施した．

写真４　SAIT学生間交流

写真５　SAIT県内保健施設の見学

写真６　SAIT県内医療施設の見学

４．学生の国際交流活動支援

学生の留学・派遣に関しては，2014年のロッキーズ大学の語学留学を皮切りに開始された．学生３名と教員１名が留学した．国際交流委員が留学に際し，派遣される教員とともに，主に渡航までの準備，手続きを支援した．

その後，2015年SAITへ２名の学生と教員１名が随行し留学を実施した．留学する学生は，語学レベルを確認の上，派遣が決定されており，その上で渡航に関する準備等の支援を実施した．

５．今後の国際交流活動の推進の基盤となる調査活動

本学の国際交流活動は，歴史も浅く今後，この活動が「国際的視野をもって保健・医療・福祉に関する問題を考え，判断し，活動できる人材の育成」に繋がっていくかを明確にする必要がある．そこで，学生が海外の教員・学生等と交流をもつ経験が，どの様な影響を与えるのか明らかにし，国際交流活動の教育プログラムの作成を行うために，全学生を対象にアンケート調査を2016年から継続的に実施している．今までの結果から，国際交流活動の推進によりソーシャルスキルやコミュニケーションスキルを高められる可能性が示唆されており，今後も国際交流が学生に及ぼす効果について検討していきたいと考える．

おわりに

本学の国際交流活動は，発展途上であり，これまで係として試行錯誤しながら国際交流を推進してきた．今後も国際的な視野をもつ学生の育成に向けて国際交流委員会と連携しながら活動を展開していきたい．

受付日　2017年９月22日
受理日　2018年１月５日